

世界農業遺産を学ぶ ―中学校で特別授業―



▲生徒たちは熱心に耳を傾けた

世界農業遺産に認定された国東市を含む国東半島宇佐地域の中学校(全24校)で、地元の農業従事者が講師を務める特別授業が始まりました。市内では武蔵中学校(10月30日)、国東中学校(11月27日)、国見中学校(11月28日)、安岐中学校(1月17日予定)の2年生を対象に実施されています。

国東市の講師は安岐町両子で米やしいたけ栽培に取り組む林 浩昭さん。国東半島宇佐地域世界農業遺産



推進協議会の会長でもある林さんは、認定までの経緯を説明し、「国東の農業遺産は循環がテーマ。クヌギ林やため池による水の循環だけではなく、若い人にも国東に戻ってきて農業の発展に寄与するという人の循環も大切です。国東の農業について自分で調べ、農業遺産の語り部になってほしい」と期待を込めて話しました。

武蔵中学校2年生の感想

ため池、クヌギ林、七島イなどの伝統あるものや、新しく伝統にできるものなど大切にしていきたい、いつまでも農業が盛んな国東半島であってほしいと思う。そのためにも自分たちから進んで行動し、伝統を守っていきたい。

世界農業遺産に認定されたのは、先祖の人々が苦労して作ったため池やさけいな自然の景観を守ってきたからであり、将来も国東半島の誇りとして守っていききたいと思う。国東市の住人で良かったと思った。

「宇佐・高田・国東広域クリーンセンター」(仮称)建設候補地決定

宇佐・高田・国東広域事務組合では、「ごみ処理施設建設用地選定委員会」による比較・評価の結果を受け、一般廃棄物処理施設建設候補地に申請のあった3地区5ヶ所の中から、**宇佐市西大堀地区**を建設候補地に決定しました。

申請いただいた自治委員・区長様をはじめ、環境問題に深いご理解と、候補地選定にご協力いただいたみなさまに深く感謝申し上げます。

なお、新しいごみ処理施設は、平成30年度中の完成を予定しています。



問い合わせ

宇佐・高田・国東広域
事務組合(宇佐文化会館内)

☎ 0978 - 33 - 2568